



第 117 号

編集 PTA係
発行 長野県下伊那農業高等学校 PTA

PTA活動について

PTA会長 木下 秀 樹



本年度のPTA会長を務めさせていただきます木下で

す。慣れない大役なので、不具合な点もあるかと思ひますが、精一杯努める所存でございますので宜しくお願い致します。

さて、平成三十年年度のPTA総会が五月二十六日に開催され新体制での活動がスタートしました。総会前の教育懇

談会では、須坂市初の法律相談所となる、法律事務所M&I MENの藤原寛史先生をお招きし「インターネットに関する犯罪被害と法的責任」の演題で講演をいただきました。八月にはPTA活動として最も大きな行事となる、視察研修旅行が行われます。教育広報部の皆様にご尽力を頂き、静岡方面への旅行を計画しており、先生方との親睦と、会員相互の情報交換の良い機

会となるかと思ひますので、是非大勢の皆様方のご参加をお待ちしております。十一月になると、楽しみな稲丘祭と、丹精を込めて栽培した作物の収穫や愛情を込めて育ててきた家畜の成長を祝う収穫祭が行われます。藤原先生の講演でも話が出ましたが、デジタルネイティブの時代を迎え、ICT関連の道具は目覚ましく進化しておりますが、昨今のニュースを見聞きしておりますと、子供の虐待の痛ましい事件が後を絶ちません。これからの時代は「命の重み」、「生きる力」の大切さを深く認識し、身に付けて行かねばならないと思ひます。下伊那農業高校では、農業

を通して生産(種まき)から収穫(命を食する)までの過程をしっかりと勉強できます。社会が大きく変化する時代ですが、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動して、他人を思いやる豊かな心を育んでいくことができると思ひます。私たち保護者は、子ども達が安心して、楽しい学校生活を送れるようにするための責任があります。先生方と連携してまいりますので、会員の皆様のご協力を何卒宜しくお願い致します。

PTA研修旅行のご案内

Table with 3 columns: (中央道), (東海環状道), (東名高速). It lists the itinerary for the PTA study trip, including departure from Iida IC at 7:00, arrival at Aomori IC at 10:30, lunch at Hotel Anbia Matsukazari, and return to Iida IC at 18:40.

締切は20日でしたが、まだ募集していますので多くの方のご参加をお願いします。

「心」を育てる

校長 村澤 博富美



四月から参りました校長の村澤と申します。一学期は、農業クラブ活動をはじめ、多くの輝かしい成果が得られ、扁額「瑞気堂満」のとおり、よいこと(瑞気)が学校(堂)に満ち、意欲的に学校生活を

送る生徒の姿が頼もしく見えます。子どもが安心して活動に専念できるのも、保護者の皆様の日頃の支えのおかげと深く感謝している次第です。さて、昔から「手をかけるより目を掛けよ」といわれま

す。親が子どもに対して「手をかけて」育てる事は当然ですが、親子のコミュニケーションが少なくなる高校生には「目を掛ける」ことが特に大切で、親が子どもの行動や表情をしっかりと観察し、考

え方や心の動きを理解することが重要です。高校時代はまさしく大人へ脱皮する成長期にあり、喜び感動し、自信をつけることもあれば、時に中途半端な行動をしてしまひ、未熟さ故に悩み苦しむこともあります。思春期の様々な経験を経る中で、自立する心を育み、「自ら考え、正しく判断し、行動できる」若者に育てなくてはなりません。ところで、親子のコミュニケーションは子どもの成長にどのような影響を与えるのでしょうか。ある調査では、学習成績とは正の相関関係があり、コミュニケーションを多

くとする子どもは学習成績が高く、また、進路選択では、少ない生徒は進路決定が遅れる傾向にあるというデータが示されています。さらに、社会性の育成という視点で見ると、多い子どもは自己肯定感が高く、社会への視野や興味関心の幅が広く、異なる価値観を持つ人とも話せるのに対して、少ない子どもは同じ価値観を持つ仲間と話す機会を望み、社会性も育ちにくいといわれます。

ですから家庭では、親子が直接話す機会を意識的に増やし、子どもの考えや心のひだや自己教育できる力を、自ら

身に付ける必要があります。潤いのある優しい心、興味あることを探究する心、苦しくても挫けない心、進路の夢に挑戦する心、すべての行動は「心」したいです。「心をつくる」上でも、親子のコミュニケーションは「心づくり」は「人づくり」に通じます。本校では、農の学びを基軸として、様々な場面で心を育てていきたいと考えています。今後とも家庭と連携を密にし、お子様の健全育成に尽力したいと思ひますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 会務報告

事務局長 佐藤 元 勇

平成三十年度当初のPTA活動報告をいたします。

四月二十日に第一回代議員会が開催されました。二十九年度事業・決算・監査報告に続き、今年度の役員選出・事業計画・予算案が承認され、今年度の事業がスタートしました。前年度役員の伊藤和宏

## PTA総会を終えて

PTA副会長 西川 智子

去る五月二十六日、平成三十年度下伊那農業高等学校PTA総会が開催されました。

今年度は、まずは教育懇談会として「法律事務所MAI MEN」の弁護士、藤原寛史先生に、「インターネットに関する犯罪被害と法的責任」と題しての講演でした。

現在、ネットトラブル、犯罪に巻き込まれる可能性が増え、身近な物であり制限する事ばかりが対処法ではない。十代の頃にトラブルを知り、危険を察知、回避する能力が必要であるという事を知り、様々なトラブルの事例を實際のパソコンの画像を見ながらわかりやすく伺いました。

先生のお話を聞き、ネットに載った情報は消す事ができない、軽い気持ちで投稿した

《今年度の役員は以下の通りです》

- 会長 長 木下 秀樹
- 副会長 長 西川 智子
- 副会長 長 知久 隆文
- 教育広報部長 木村 直史
- 同 副部長 澤柳 徹
- 生活指導部長 片桐恵里香
- 同 副部長 佐々木康司
- 監事(三年) 原 克彦
- 監事(二年) 松尾 正宏
- 監事(一年) 石川 博司

午前中、授業参観も行なわれ、お昼を挿み、大変長丁場の一日でした。会員の皆様のご協力のもと、大変スムーズに議事も進行できました事、お礼申し上げます。

さて、私事になりますが、この度副会長をさせて頂く事になりました。昨年度は地区の代議員でPTAとのつながりが少し深まり、今年度は副会長という大役で本人が一番驚いております。日頃から入との出会いをとても大切にしています。このPTAで出会ったのも何かのご縁です。で気楽に声をかけて下さい。また分からない事も多く、ご迷惑をおかけする事もあるかも知れませんが、皆様のご指導を頂きながらがんばりたいと思います。PTA会員の皆様と協力しながら下伊那農業高等学校を盛り上げていきたいなと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## PTA教育懇談会を終えて

教育広報部長 木村 直史

今年度の教育懇談会は、「インターネットに関する犯罪被害と法的責任」と言うテーマで、法律事務所MAI MENの弁護士 藤原寛史氏を講師に迎え、五月二十六日に行われました。

現代社会において必要不可欠とも言える、PCや携帯電話。利便性、多様性、安全性などに多くの機能があり、私たちの生活していく上で、大きく関わり、また、情報化社会においても大事なツールになってきています。私達の子供の頃とはかなり環境が違います。

今回の講演では、インターネットを中心とした問題や活用方法、法的責任と言った観点でお話ししていただきました。まず、大きく驚いたのは、私がインターネット等に関する問題や犯罪被害につながるという事です。ネット上では一対一であっても、一対一

関する問題や認識が、かなり甘いという事でした。子供に注意喚起する前に、もっと自分自身がその分野に関する知識や理解をしなければいけないという事です。

保護者として子供の安全やルールを守らせる責任においてやはり、「知らない」「認識がない」などと言う事はあってはならない事だと思えます。その上でやはり、日々進んで行くネット社会にも、私達も少しも理解できるように子供達と共に学んで行く事が大切だと思います。

また、ネット上での問題については、「ボタン一つ」「さき問題や犯罪被害につながる」と言う事です。ネット上では一対一であっても、一対一

ではなくなる事があり、いじめや犯罪に繋がりが兼ねない事になってしまいます。便利である一方で、怖さもある事。子供にも理解させ、誰しも被害者、加害者になりうるという事も子供を含め家庭で話しをする事が大切だと思います。子供が進学、就職と社会に出て行く上で必要なツールなのは変わりません。その上でどんな問題があり、どんなルールがあるかなど、子供達に理解させる責任の一部は、保護者にもあると思えます。

この講演の話題を一つとして子供と話す機会をもち、普段出来ない話し等も行い、有意義な時間を共に出来れば良いと思います。

今回の講演は私達にとって良い会になったと思えます。最後に、子供達の学校生活が安全で楽しいものとなるよう、学校とPTAがしっかりと連携して行きたいと思えます。

## 牛の受精卵移植学

下伊那農高 専門家を講師に迎え

下伊那農業高校で、ろつと6歳で輿載を8日、アクリサービ 辞め、受精卵移植技術の3年生が黒毛 術の普及に努める。和牛の受精卵採取と 医師、エアースロップ 検査、凍結保存の手 くり、クリニック 専門家を講師に 松井太郎さん(56) 畜産家の力にな

5日行った人工授精の成果を確認する手順を撮影した。小松さんは牛舎にいて、感性的にうまくと伝えた。小松さん(右)から種畜の手順を学ぶ下農生



小松さん(右)から種畜の手順を学ぶ下農生



# 会員の声

## 親として

三学年委員長 林 和志男

ついでの間、私の母校でもある下農へ娘が入学したと思っただけ、早いもので卒業を迎える三年生になり、すでに一学期も終わろうとしています。そんな時の流れの早さに最近、親として寂しさや不安を感じながら、いよいよPTA役員活動も締め括りの年を迎えることになりました。

娘が生まれて私も親になって時にはぶつかり、泣いたり、笑ったり、一言では表せないほど貴重な時間を共に過ごしてお互い少しずつ成長することができ、

ついに巣立ちの時がやってきます。親として子供の成長を見守ってきた時は過ぎてても、親であり続けることに変わりありません。

いつからか会話が少なくなってきた娘と、下農での学生生活の話題が共感しあうことができる重要な潤滑油になってくれ、PTA役員の活動はそんな親と子そして先生、学校を結び貴重な機会になってくれていきます。自分が生徒だった時代とはだいぶ違う親と先生、先生と生徒の関係の中で色々話したりクラスの様子を伺い、良い経験と勉強もさせて頂いてきました。

悩み多く楽しかった親子時代も娘の巣立ちと共に思い出に交わっていきます。もう少しになってしまったこの下農での高校生活を

## 母校を共有できたこと

二学年委員長 松澤 清

子供が自分と同じ高校を選択したことにより、忘れかけていた四十年も前の自分の記憶を思い出させてくれることになった。当時は農家の長男であることだけが下農へ入学する理由であったような時代であった。また、農家の子供であれば優先的に入学できると思われていた。このことに疑問も迷いもなかったと記憶している。

入学してみるとやはり同じ境遇の多くの仲間に出会えることになった。卒業生であることでPTA役員にも指名されることになった。

た。小中では学校とはほぼ無縁で役員になりたくないために無関心を装っていた。役員とは何をやるのか、何ができるのか重苦しい気分にもなった。

懐かしい母校に頻繁に出入りできたことで教職員の皆様を知ることができた。このことが毎日帰宅する子供との会話が弾む大きな要因となった。自分もそうであったが、難しい年齢で家庭での会話がなくなる時期だと思っていたが、親がOBであること役員に指名され学校の様子がわかることで中学時代以上に会話が增进了。親としてとてもありがたかったです。毎日を通していただいている。

望んで引き受けた役員ではな

かったが、とても有意義な時間を過ごさせていただいていることに感謝したい。

少子化により将来本校の統廃合も想定しなければならぬ時が来るだろう。願わくは永久に母校が存続しOBであり続けたい。

私自身、平成の始めにこの下伊那農業高校へ入学をし、三年間農業機械科の生徒としてお世話になりました。

での生活を中三になった子供に話していたら、子供から下農に行きたいという事を聞き、正直びっくりしましたが自分が下農で体験した事、とても楽しかった事を思い出して子供を応援しようと思えました。

いざ子供が下農へ入学する事となり二十数年ぶりに母校の校舎へと足を踏み入れました。まさか父親である私と同じ校舎、同じ教室で子供が高校生活を送る事となるとは思わず、嬉しいやら懐かしいやら...

縁あってPTA役員として父親の私もまたこの下農でお世話になる事となりました。子供達の高校生活を見守りながら、親としてもまたこの下農で成長する良い機会を頂く事ができました。私自身の成長はあるかわかりませんが、三年後の子供の成長がとても楽しみです。

## クラブ活動報告

### 【南信高校総合体育大会成績】

◇ラゲビー班 準優勝 全国7人制県大会

◇剣道班 飯田OIDE長姫との合同チーム

◇柔道班 女子団体戦 準優勝

◇水泳 上田慶次郎 男子200m平泳ぎ 3位

◇弓道班 女子団体戦 南信大会 9位

◇卓球 南信大会

◇山岳班 男子県大会出場南信大会予選突破

◇剣道班 女子団体戦 準優勝

◇卓球 南信大会

◇水泳 上田慶次郎 男子200m平泳ぎ 3位

◇弓道班 女子団体戦 南信大会 9位

◇卓球 南信大会

◇山岳班 男子県大会出場南信大会予選突破

◇剣道班 飯田OIDE長姫との合同チーム

◇柔道班 女子団体戦 準優勝

◇水泳 上田慶次郎 男子200m平泳ぎ 3位

◇弓道班 女子団体戦 南信大会 9位

◇卓球 南信大会

◇山岳班 男子県大会出場南信大会予選突破

◇長野県国際教育研究協議会主催第38回英語弁論大会 優秀賞 熊谷美月

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 井坪学斗

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 猪又あゆみ・太田静流

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 意見発表I類 知久宗一郎

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 意見発表II類 中根裕輝

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 果樹班

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 食品科学班

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 アグリ研究班畜産部

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 下伊那農業高校農業クラブ

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 井坪学斗

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 猪又あゆみ・太田静流

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 意見発表I類 知久宗一郎

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 意見発表II類 中根裕輝

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 果樹班

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 食品科学班

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 最優秀賞 アグリ研究班畜産部

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 下伊那農業高校農業クラブ

◇長野県学校農業クラブ連盟フューアレンジメント競技会県大会 優秀賞 下伊那農業高校農業クラブ

## 職員の異動

＊平成29年度末

○退職 鳴崎 文男(校長)

○退職 奥田恵理子(地公)

○退職 龍口 英男(農業)

○退職 大平 洋明(農業)

○退職 熊谷 広子(農業)

○退職 林 豊(農業)

○転出 山崎 久子(事務)

＊平成30年度

○転入 松下 賢司(事務 赤穂高校)

○転入 木下久美子(事務 飯田児童相談所)

○転入 村澤博富美(校長 総合教育センター)

○転入 三浦正二(数学 飯田風越高校)

○転入 久保田 元(数学 新)

○転入 奥田 隆浩(保健師 OIDE長姫高校)

○転入 山崎 裕加(音楽 諏訪実業高校)

○転入 下岡 利光(農業 上伊那農業高校)

○転入 竹内 健二(農業 新)

○転入 松澤 公夫(農業 丸子修学館高校)

○転入 細野 雅也(農業 新)

○転入 大屋 亮太(農業 上伊那農業高校)

○転入 荒井三千秋(農業 新)

○転入 森 隆明(農業 新)

○転入 木下 恒男(事務 阿南高校)

○転入 北川原 傑(事務 新)

○転入 北川原 傑(事務 新)